

2025年度 日活健康保険組合 保健事業 重症化予防事業 がん検診・オプション検査費用一部補助

日活健保では、保健事業・重症化予防対策として、以下のがん検診等検査費用補助を実施いたします。
ご活用いただきたくご案内いたします。

がん検診の受診に際しては、「がん検診について（メリット・デメリット）」にて、がん検診の「メリット」「デメリット」について正しく理解し、受診してください。

※「腫瘍マーカー」＝「がんの早期発見の検査」と思っている方も多いようですが、「腫瘍マーカー」は、がんの診療（治療判定・がんの進行度評価）においては重要な検査ながら、がんの有無を判定する検査ではないため、健診時に受ける検査としては適切ではないとの見解が出されております。（国立がん研究センター）

1. オプション検査費用一部補助

今年度より、補助の範囲を、傷病の早期発見・早期治療につながる健診時におけるオプション検査全般に対する補助へと拡大しました。

また、「郵送がん検査」については、自己採取によるクオリティの問題や、検体採取後の管理状況等から、正しい検査結果が得られない可能性が指摘されており、がん健診は対面で行うことが推奨されていることから中止しました。

対象者	40歳以上の被保険者・被扶養者（2026年3月31日までに40歳を迎える方含む）
補助額	年度に1回 3,000円を上限に補助 注）1検査3,000円に満たない場合は検査費相当額を補助 複数の検査を行なう場合は、検査費合計金額に対し3,000円を補助
補助申請期限	2026年 3月20日（金）まで（健保着・厳守）
補助方法	下記①・②を健保に提出 ① 健診時のオプション検査総額の記載された領収書（本書） ② 別添「がん検診等オプション検査費補助申請」 ※領収書がない場合（婦人科検診等、後で健保から請求書を受け取る場合）は、 ②の「オプション検査補助申請書」のみを健保に提出下さい ※提出 被保険者は、健保への直接郵送または事業所経由で提出ください 被扶養者は、健保への直接郵送または被保険者に渡し、事業所経由で提出ください
対象検査	人間ドック、生活習慣病健診、特定健診、巡回健診、事業所で行う法定健診（定期健診） 時におけるオプション検査全般（自己負担による検査）

※ 胃部X線検査（バリウム）から胃カメラへの変更差額も対象となります。

※ がん検診に限らず、全てのオプション検査が対象となります。

※ 健診とは別に保険診療で受診した検査（二次検査等）は補助の対象外です。

※ 事業主が負担する婦人科検査等は対象外です。

※ 市区町村で実施のがん検診については、すでに行政による補助なされているため対象外です。

※ オプション検査の領収書紛失の場合は補助金をお支払いできません。

申請書のみ提出にて対応できるのは、領収書が発行されない場合のみです。

2. 被保険者 大腸がん検診（便潜血検査）

対象者	40歳以上の被保険者（2026年3月31日までに40歳を迎える方含む）
補助額	全額補助
補助方法	事業所における法定健診（定期健診）時に受診いただきます

3. 被扶養者のがん検診（大腸がん検診・肺がん検診等の健保費用負担）

対象者	40歳以上の被扶養者（2026年3月31日までに40歳を迎える方含む）
補助額	全額補助
補助方法	「特定健診」「巡回レディース健診」時に受診いただきます
補助詳細	「特定健診」基礎検査項目に加え、心電図検査、胸部X線検査、大腸がん検査（検便）を追加、 「法定健診」と同等の検査内容が受診できます